

安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名	消石灰
化学物質名	水酸化カルシウム
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部門	肥料農薬部
住所	東京都千代田区大手町一丁目1-3-1 JAビル33F
電話番号	03-6271-8285
FAX番号	03-5218-2536
e-mail	ZZ_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先	03-6271-8286

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	酸性排水中和剤、排ガス処理剤、肥料用、上下水処理用、土質安定材、食品添加物等
使用上の制限	特になし

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

物理化学的危険性

爆発類	: 分類対象外
可燃性・引火性ガス	: 分類対象外
エアゾール	: 分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 区分外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類できない
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 区分外
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：気体）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 区分1（呼吸器系）
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 区分2（肺）
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

環境に対する有害性	
水生環境急性有害性（急性）	: 分類できない
水生環境急性有害性（慢性）	: 分類できない

2.2 GHS要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H315：皮膚刺激 H318：重篤な眼の損傷 H370：臓器（呼吸器系）の障害 H373：長期又は反復ばく露による肺の障害のおそれ
注意書き	
〔予防策〕	P260：粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 P280：保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
〔対応〕	P305+P351+P338：眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 P332+P313：皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
〔保管〕	P405：施錠して保管すること。
〔廃棄〕	P501：内容物／容器を国・地域のすべての法規に従い廃棄すること。

3.組成、成分情報

- 3.1 単一製品・混合物の区別 : 単一製品
- 3.2 化学名又は一般名 別名 消石灰

成分	濃度又は濃度範囲	CAS No.	官報公示整理番号
水酸化カルシウム Ca(OH) ₂ (Calcium hydroxide)	95%以上	1305-62-0	化審法：(1)-181(1) 安衛法：公表

4. 応急措置

吸入した場合	多量に吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動させ、医師の診断を受けること。
皮膚に付いた場合	製品に触れた部分を水又は石鹼水で十分に流しながら洗浄する。
眼に入った場合	眼球を傷つける恐れがあるため、眼を擦らないで、清浄な水で十分に洗浄し（できればコンタクトレンズをはずして）、直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	清浄な水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤	周辺火災の場合は、すべての消火薬剤の使用可。
5.2 特定の消火方法	不燃性であり、火災・爆発の危険性はない。 注水は、飛散防止に配慮する。
5.3 消火を行う者の保護	消火作業の際は必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項	処理作業の際には保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用し、粉塵を吸入したり、皮膚への付着を防止する。
6.2 環境に対する注意事項	シート等で覆い、飛散拡大の防止を図る。河川等に流入しないように注意する。
6.3 防除方法	粉塵が発生しないように掃き取り、乾燥した空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い	
技術的対応	皮膚、眼との接触、粉塵の吸入を避けるため、保護具（防塵メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用する。
注意事項	粉塵の発生を極力抑え、適切な集塵装置を設置する。 ミストの発生を防ぐ。
7.2 保管	
適切な保管条件	密封して乾燥した冷暗所に保管し、大気との接触を避ける。 防湿に留意する。 強酸から離しておく。
安全な容器包装材料	耐アルカリ性容器を用いる。 防湿に留意する。

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 管理濃度、許容濃度

化学名	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (日本産業衛生学会)	許容濃度 (ACGIH)
水酸化カルシウム	設定されていない	第3種粉塵 吸入性粉塵：2mg/m ³ (TWA) 総粉塵：8mg/m ³ (TWA) (2015年)	TLV：5mg/m ³ (TWA) (2014年)

8.2 ばく露対策

設備対策	粉塵が発生するような場所は、局所排気装置を設置する。
------	----------------------------

保護具

呼吸器の保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋（ケミカルグローブ）
眼の保護具	保護メガネ（ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	保護衣（体の露出部分が少ない長袖作業服等）

9. 物理及び化学的性質

物理的状态

形状	固体
色	白色
臭い	無臭
PH	12.4（飽和水溶液） ⁴⁾

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲

分解温度	580℃（水を失って酸化カルシウムとなる）
引火点	不燃性でありデータなし
発火点	不燃性でありデータなし
爆発特性	不燃性でありデータなし
比重	2.24
溶解性	水に僅かに溶ける。水 0.14g／100 g (25℃) ⁶⁾

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

酸性溶液に可溶である。
酸類と反応し発熱する。
強酸化剤と反応する。
空気中に放置すれば、二酸化炭素を吸収して炭酸カルシウムとなる。
水の存在下で、多くの金属を浸し、引火性／爆発性のガス（水素）を生成する。

10.2 安定性

安定、不燃性。
加熱すると、分解し、酸化カルシウムを生じる。

10.3 避けるべき条件

水に微溶であるが、水溶液は強アルカリ性を呈す。

10.4 危険有害な分解生成物

酸化カルシウム

11. 有害性情報

急性毒性

経口ラット♂ LD₅₀>6,500mg / kg²⁾

経口ラット♀ LD₅₀>7,691mg / kg²⁾

経口マウス♂ LD₅₀>5,494mg / kg²⁾

経口マウス♀ LD₅₀>5,268mg / kg²⁾

経口ラット LD₅₀>7,340mg / kg³⁾

経口マウス LD₅₀>7,300mg / kg³⁾

皮膚腐食性／刺激性

炎症を起こすことがある。皮膚炎の原因。⁹⁾

眼および気道を含むすべての身体表面暴露に対し中程度の刺激性を示すと記述(ACGIH、7th、2001)¹⁰⁾

ヒト皮膚に対して moderate,severe,corrosive な刺激を示すとの記述(IUCLID,2000,HSDB,2005 ; ICSC(J),1997 ; SITTIIG,4th,2002 ; HSFS,2005)¹⁰⁾

眼に対する重篤な損傷／刺激性

眼に入った場合には、充血することがある。(刺激性)

ヒト眼に対して moderate,severe,corrosive な刺激を示すとの記述

(ACGIH,7th,2001 ; IUCLID,2000 ; HSDB,2005 ; ICSC(J),1997 ; SITTIIG,4th,2002 ; HSFS,2005)¹⁰⁾

	ウサギに対して corrosive な刺激を示すとの記述(IUCLID,2000)
	ウサギ 10mg ; 重度の刺激性
	激しい眼の刺激性
呼吸器感作性／皮膚感作性	呼吸器感作性, 皮膚感作性 ; データーなし
生殖細胞変異原性	データーなし
発がん性	データーなし
生殖毒性	データーなし
特性標的臓器毒性 (単回暴露)	ヒト呼吸器、気道を刺激し肺水腫を引き起こすとの記述 (ACGIH,7th,2001 ; HSDB,2005 ; ICSC(J),1997; SITTIG,4th, 2002 ; HSFS,2005) ¹⁰⁾
特性標的臓器毒性 (反復暴露)	Priority 2 においてヒト肺を冒すことがあるとの記述(ICSC(J), 1997; SITTIG,4th,2002) ¹⁰⁾
吸引力呼吸器有害性	データーなし

1 2. 環境影響情報

12.1 生態毒性	
魚毒性	データーなし
12.2 残留性／分解性	データーなし
12.3 生体蓄積性	データーなし

1 3. 廃棄上の注意

水溶液は強アルカリ性であり、中和等の処理をおこなう。
 粉塵が飛散しないように、容器を密閉し、管理型最終処分場で処分する。

1 4. 輸送上の注意

14.1 国連番号	データーなし
14.2 国連輸送品名	なし
14.3 国連分類	なし
14.4 容器等級	なし
14.5 海洋汚染物質	該当しない
14.6 輸送の特定の安全対策及び条件	輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、 落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に 行う。
14.7 緊急時応急措置指針番号	なし
14.8 MARPOL 73/78 付属書Ⅱ及び IBC コードによるばら積み輸送 される液体物質	該当 (Z 類 水酸化カルシウム)
14.9 その他の注意事項	国内規制 海上規制 海洋汚染防止法の規制に従う

1 5. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	該当しない
労働安全衛生法	第 57 条第 1 項 名称等を表示すべき有害物 (施工令第 18 条 第 1 号、第 2 号別表 9 : 317) 第 57 条の 2 名称等を通知すべき有害物 (施工令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表 9 : 317)
毒物及び劇物取締法	該当しない
船舶安全法	該当しない

航空法	該当しない
港則法	該当しない
海洋汚染防止法	施工令別表第1 有害液体物質Z類 (75 水酸化カルシウム)

16. その他の情報

編集日時	作成日 2012年10月1日
	改訂日 2012年6月1日

引用文献

- 1) 化学便覧 改訂4版 (1993)
- 2) 石灰 No.443 (1992. 11)
- 3) ケミカルデータサービス・化学品情報 (1993. 11)
- 4) 化学品安全管理データブック (1996. 3)
- 5) 化学大辞典 共立出版 (1997年)
- 6) 16716の化学商品 化学工業日報社 (2016年)
- 7) 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 付属書3 日本化学工業協会
- 8) 化学物質情報 安全衛生情報センター
- 9) 国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版 ICSC 番号 0408
- 10) 化学物質総合検索システム (CHRIP) 製品評価技術基盤機構 (nite)
- 11) 化学品法規制検索システム 日本ケミカルデータベース株式会社

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

本SDSは、下記宇部マテリアルズ株式会社の情報を元に作成しました。

該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	宇部マテリアルズ株式会社		
住所	山口県美祢市伊佐町伊佐4611-1		
担当部門	美祢工場 品質管理室		
	電話番号	0837-52-0175	
	FAX番号	0837-53-0175	
緊急時の電話番号	カルシア関連事業部	山口販売部	
	電話番号	0837-52-0177	